

A	優	良
B	良	好
C	課	題 含
D	要	改 善

施設名	川西市久代児童センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	こども未来部 こども政策課		
区 分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価項目及びポイント		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】		A		A		1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	
(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成		A		A		(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成	
①法令や利用のルール、事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限に有効活用するとともに、施設の設置目的に沿った成果が得られたか。		A	児童福祉法や川西市の条例に基づき、18歳未満の児童を対象に設置目的である児童の健全な育成を図るための事業を実施しました。 様々な自主事業を通して、利用者間の交流が深まるような時間を設けるなど創意工夫をしました。 また、こどもの日のイベントに高齢者の暫定利用登録グループにも参加いただき、世代間交流を実施したほか、地域や社協の登録ボランティアグループに協力いただき各種自主事業を実施するなど関係団体との連携も深めました。	A	様々な事業を実施する中で、利用者同士の交流を深めるなど、目的に沿った成果が得られている。 また、地域の高齢者やボランティアと連携するなど、関係団体と交流が行なわれている。	意見なし	
②利用に係る登録方法や手続について、利用者に対し十分に周知を行い、適正な方法で行われたか。		A	初回利用者には、川西市在住であることを確認し、利用登録申請書に住所、氏名、生年月日、連絡先を記入いただいています。 また、来館時に幼児は、保護者による氏名、年齢の記入、児童は、氏名、学校、学年、検温の聞き取りを行いました。 忘れ物等や不測の事態への対応も意識し、受付手続を行いました。	B	登録方法については適切に丁寧に対応されている。 利用登録時に、利用規約や注意事項などのルールを文書で示すなど、ルールの周知を強化する工夫を行なわれた。	意見なし	
③施設の設置目的に応じた効果的な営業や広報活動を行い、その結果、効果があつたか。		A	市の広報誌や施設のホームページへの掲載、LINE配信(計12回)、Instagram(計12回)で情報発信を行いました。 LINEは登録者数が1,200人を超え、配信による事業参加申込者も見られました。 一方で紙媒体による広報を毎月発行し、子育て支援拠点を中心に配布して周知を図りました。	A	紙媒体と電子媒体を使い分け、効果的な情報発信を心がけている。	意見なし	
< 課 題 >			事業実施に際して地域、学校、ボランティアグループ等との連携協力体制をさらに強化することで、地域の身近な居場所としての機能を発揮する必要があります。		地域の身近な居場所となるために、利用者のニーズを把握し、反映するようお願いしたい。	意見なし	
<改善内容>			限られた職員で、こどもや保護者にとっての地域の居場所として機能するために、さらに地区福祉委員会や社協登録ボランティアグループ、近隣施設などの連携を通して効果的な運営を行います。		様々な人との交流で、より活発な運営になるよう期待する。	意見なし	
(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況		A		A		(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	
① 施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。		A	利用者が、安心できるよう前年に引き続き検温、換気等を継続し事業を実施しました。 夏のお楽しみ会など季節のイベントには、地区福祉委員会などの地域団体や社協登録ボランティアグループにも参加していただき交流を図りました。	A	利用者が、安心・安全に利用できるよう、配慮を行ない事業を実施されている。	意見なし	
② 施設の利用者や実施された事業への参加者数の増加、サービス利用者の利用回数の促進など創意工夫が図られたか。		A	施設利用者は、前年実績延べ利用者数11,188人に対し実績値として11,313人となりました。 主な要因として、地域クラブに加入している中学生が、活動の始まる前の時間を利用して児童センターに立ち寄るようになったことが挙げられます。 また、久代児童センターだよりの毎月発行およびLINEへの掲載による利用者への事業周知のほか、Googleフォームによる参加募集が定着するよう図りました。	A	事業申込の電子化も定着しつつあるなど、利用者の利便性の向上が図られている。	意見なし	
< 課 題 >			こどもたちが安全かつ公平に遊べるよう、遊戯室等の使用ルールを柔軟に見直すとともに、見守り・声かけを継続する必要があります。		利用者の年齢層が幅広いため、安全、公平に遊べるようなルールや事業内容を工夫されたい。	意見なし	
<改善内容>			低学年のこどもたちが、部屋のルールや遊具等の利用方法がわかるよう短い言葉で絵やイラストを活用した周知に加え、館内放送も有効利用し、効果的に伝える工夫を行います。		周りの人のことをみながら、自ら考えて行動する力を養えるよう、利用者より直接的に関わりを持つなど工夫されたい。	意見なし	

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	要	改 善

施設名	川西市久代児童センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	こども未来部 こども政策課		
区 分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価項目及びポイント		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		
(1-3) 利用者の満足度		A		A		(1-3) 利用者の満足度	
① 利用者の満足度を把握するため、定期的にアンケート調査などを実施したか。		A	事業の満足度を図るためにアンケートを各事業終了時に行うとともに、施設全体の利用満足度を図るアンケートを年1回実施し保護者や児童127人から回答を頂きました。	A	各事業終了時にアンケートを実施しているほか、毎年1回アンケートを実施しており、利用者の満足度向上に向けニーズ把握に努めている。	意見なし	
②利用者アンケート調査の結果から、施設利用者ニーズや満足度を把握し、事業の改善等が得られたか。		A	保護者や児童からの要望も反映し、リトミックやダンス教室、卓球大会など身体を使った事業を開催しました。今後も運営体制やニーズ等を鑑み可能な範囲で実施します。	A	アンケート結果を受け、ニーズに応じた事業計画が実施されている。	意見なし	
③利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。		A	本年度、利用者からの苦情はありませんでしたが、子どもによる遊具の破損や遊び中のケガがありました。その都度、職員による注意やケガした子どもの応急手当を行い、保護者に電話にて現況報告を行いました。対応を通して子どもや保護者に施設への信頼感を高め安全に過ごせる地域の居場所である認識が深まるよう努めました。	A	ケガの発生時には、利用者及びその保護者に対して適切な対応を行なっている。また問題発生時には、関係機関と連携し解決に当たっている。	意見なし	
④アンケート調査以外に、さまざまな手法で利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。		A	地域の子育て支援拠点として、利用者来館時や自主事業実施時に職員による声掛けを積極的に行い、コミュニケーションのとりやすい雰囲気づくりに努めました。また、職員がプレイルームを活用し、子育て中の保護者からの相談を受けるなど相談機能が充実するよう図りました。	B	利用しやすい環境づくり、子育て相談支援の充実に努めている。子どもたちが楽しく過ごすことができる居場所になるよう、子どもの意見を把握し、反映する取組をさらに進めていきたい。	意見なし	
⑤サービスの質を向上させるため具体的な取り組みを行ったか。また、取り組みの結果、どのような効果が得られたか。		A	事業(おやこであそぼう 4. 5歳児バナナクラス)の最終回に参加された幼児の要望に基づき、別途交流の場を設けるなど必要性に応じて柔軟に対応しました。保護者からも参加者主体のつながり、情報交換の場になると好評を得ました。	A	保護者の思いを受けとめ、必要性に応じて柔軟に対応している。	意見なし	
< 課 題 >			利用者のケガや火事、地震、不審者対応など、不測の事態を想定し、有効に対応するため法人内、関係機関、近隣施設との連携をさらに強化する必要があります。		非常時の近隣施設との連携の強化とともに、利用者にも周知や訓練を行なうなど願いたい。	意見なし	
<改善内容>			BCP(事業継続計画)を更新するとともに消火、避難誘導、不審者対応など、実践に即した訓練を実施します。また、近隣施設、法人内との定期的な意見交換を行い協力体制を強化することで不測の事態においても迅速に対応します。		BCP更新、消火・避難誘導・不審者対応といった安全対策を意識している点は評価できる。さらに具体的な内容・頻度、訓練の種類・頻度・対象(職員・利用者・外部関係者)、訓練の評価方法などを検討していきたい。	意見なし	
2 効率性の向上に関する取組み【効率性】		A		A		2 効率性の向上に関する取組み【効率性】	
(2-1) 経費の節減		A		A		(2-1) 経費の節減	
① 施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みが行われ、その効果が得られたか。		A	水道光熱費を中心にセンター職員が経費節減を常に意識しています。使用している部屋の空調は適切な室温管理に努め、使用していない部屋の照明や空調はすぐに切るなど徹底しています。	A	日常的な節減は継続されている。	意見なし	
② 管理運営業務の遂行にあたり、業者発注や業務委託により行われる場合、適切な水準で行われ、経費が最小限となるような競争が行われたか。		A	物品購入や施設修繕において複数業者による相見積もりを実施し安価な業者を選定しています。また、職員やボランティアによる修繕可能な方法も検討し、遊具修繕を中心に可能なことは実施しています。	A	適正に業者選定を行っており、経費節減に努めている。	意見なし	
< 課 題 >			建物が40年を迎え、経年劣化により水回りなど修繕が必要な箇所の増加が見込まれています。利用者の安全第一を念頭に必要に応じて、市と情報共有、協議、提案しながら改修や保全を図ります。		利用者の安全が損なわれることがないように、老朽箇所等の情報共有と改修の提案をお願いしたい。	意見なし	
<改善内容>			職員の創意工夫によって、修繕できるものについては可能な限り職員で対応します。業者に依頼する場合も発注方法をまとめたり無償サービスの範囲を相談交渉するなど、安価になるよう取組みます。		職員による簡易な修繕については、経費節減の手段として継続をお願いしたい。発注方法をまとめることは事務の効率化にもつながるため継続をお願いしたい。	意見なし	

							A	優	良
							B	良	好
							C	課	題
							D	要	改
									善
施設名	川西市久代児童センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	こども未来部 こども政策課				
区 分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】			
評価項目及びポイント		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)				
(2-2) 収入の増加		評価なし		評価なし		(2-2) 収入の増加			
① 収入を増加させるための具体的な方法の検討や取り組みを行ったか。									
② 収入の増加など取り組みの効果が得られたか。									
< 課 題 >									
<改善内容>									
(2-3) 収支のバランスなど		評価なし		評価なし		(2-3) 収支のバランスなど			
① 収支のバランスは、適切であったか。									
② 費用対効果を考えながら、経費の効果的で効率的な執行が行われたか。									
③ 収支の内容に不適切な点はなかったか。									
< 課 題 >									
<改善内容>									
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】		A		A		3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】			
(3-1) 管理運営の実施状況		A		A		(3-1) 管理運営の実施状況			
① 法令や市等の指導に基づき、施設の管理運営に、適切な人員配置をされていたか。		A	児童館の設置運営要綱に基づき、2名以上の児童の遊びを指導する者(うち1名は、児童厚生員)のほか、体育指導員1名を配置しています。 その他、所長1名、事務員1名を含め事故防止や安全面を考慮し、効果的な運営を図っています。	A	有資格者及び人員が適正に配置されている。	意見なし			
② 法令や市等の指導に基づき、業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。		A	消防法により義務付けられている「防火管理者講習」のほか、児童厚生員の資質向上を目的に「KAPLA指導者向け講習会」を受講し復命することで情報共有しました。	A	業務に必要な研修を受講し、日々の業務に役立てている。また、所属内で復命し、内容を共有できている。	意見なし			
③ 経費の節減やサービス提供の質など、管理運営が適切に行われていたか。		A	修繕や物品購入については、金額に応じて複数業者による相見積もりを実施し安価な業者を選定しました。 また、施設利用者向けのアンケートのほか、各自主事業ごとのアンケートを行い、次期事業計画を予算に可能な限り反映し、児童による料理教室などの事業を実施しました。	A	経費の節減については、相見積もりの実施など適切に行なわれている。 また、事業毎のアンケートを行ない、利用者の声をふまえて次期計画等に反映している。	意見なし			
④ 施設の良好な管理運営を進めるため、新たな取り組みについて、指定管理者自ら提案・検討を進め、実施されたか。		A	川西警察署生活安全課の講師に招き、不審者対応の実地訓練を開催しました。 訓練を通じて、利用者や職員が身を守る方法など対応方法について理解を深め、利用者にとって安全な居場所として、管理運営に努めました。	A	警察から講師を招き、訓練を行なうなど、危機管理に努めている。	意見なし			
< 課 題 >			利用者間での言い争い、注意しても廊下を走り回る、奇声をあげる、卓球やバドミントンのラケットなど遊具を壊す、備え付けの消毒液を窃盗するなど、相手(他人)の事を考えず一部利用ルールを守らない児童や生徒の対応が課題です。		器物破損や他の利用者へ危険を及ぼす行動については保護者や関係機関への連絡を行なわれた。再発防止はもちろん、こどもの成長につながるような指導をお願いしたい。	意見なし			
<改善内容>			センター内に設置している9台の防犯カメラ等で事実確認をしたうえで、職員間の情報共有を行います。 また、所長不在時においても状況に応じて学校、市、社協本部、警察等に連絡・報告し迅速に対応します。		職員間の情報共有をするともに、指導方法や職員の配置方法を見直すなど、適切に対処できるよう努められたい。	意見なし			

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	要	改

施設名	川西市久代児童センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	こども未来部 こども政策課	
区 分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	
(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など		A		A		(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など
①法令に沿った適正な事業の実施を行うだけでなく、チェック体制などの整備や機能をさせているか。		A	初回利用時には川西市在住であることを確認したうえで、利用登録申請書に記入いただきます。 申請書はデータ入力後、職員全員に供覧し情報共有及び確認を行います。 その際、データ誤入力が発見された場合は、直ちに入力訂正し職員全員で再確認します。	A	法令を遵守し、適正な管理運営を行なうとともに、職務遂行にあたって適切な対応がされている。 利用登録については、入力時のダブルチェックも行なわれている。	意見なし
②施設利用者の個人情報保護などの取扱いが適切に行われているか。		A	個人情報は施錠できるロッカーに保管し、外部への持ち出しは禁じています。 また、個人が特定できる書類等を取り扱う場合、保管期限に応じてシュレッダーをかけて処分するなど、適切に管理しています。	A	利用者の個人情報に配慮し、適切に取り扱われている。	意見なし
③日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されているか。		A	玄関の出入口など段差のある場所には、スロープを設置し解消を図っています。 また、利用者による危険な行為については、口頭及び掲示物での注意喚起を行っています。 その他、事例に基づき遊具や部屋の利用について、時間制限を設けるなど柔軟なルール設定をする場合があります。	A	事故が予測される場所の解消や事前の注意喚起を行ない、事故予防に努めている。	意見なし
④防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であるか。		A	出入口門扉付近、玄関、1階廊下、1階教養娯楽室、1階集会室、1階運動指導室、2階廊下、2階遊戯室に防犯カメラを設置し、巡回時以外の安全チェック、事故発生時の検証を行っています。 また、閉館後や休日の警備はアルソックに委託しています。 火災時の避難、誘導、通報、消火訓練は法令に基づき年2回隣接するアソシア川西や川西南公民館と合同実施しています。	A	防犯・防火対策は適切に行なわれている。	意見なし
⑤事故発生時や非常災害時の対応についてマニュアルを作成するなど適切な対応ができるように整備しているか。		A	事故発生時マニュアルや災害時マニュアル、感染症マニュアルを作成し、職員間で共有するとともに、適宜見直しを図っています。 ヒヤリハットについては、法人本部の共有フォルダ内に保存し、事故発生時は速やかに市及び社協本部に連絡し、所定報告様式により、報告しています。	A	緊急時対応マニュアルおよびヒヤリハット事例について、組織内で共有し、緊急時に備えた対応がされている。	意見なし
⑥利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮したか。		A	遊戯室(バトミントンやクッションボール)、運動指導室(卓球台(3台)、ビリヤード台(中学生以上利用))の利用に関しては、利用希望者多数の場合、30分という時間制限を設け、子ども達が平等に利用できるよう配慮しています。	A	利用者が平等に利用できる仕組みを構築されている。様々な子どもが利用する施設であるので、状況に応じて、公平性の観点も考慮されたい。	意見なし
⑦利用者が限定される施設では、利用者の選定を公平でかつ適切に実施したか。			非該当			
< 課 題 >			乳幼児の保護者や児童に、遊んだ遊具の片付け、整理、破損など、利用ルールが守られるよう掲示物や口頭による注意喚起をする必要があります。		誰もが利用しやすいセンターになるよう、利用者にも考えてもらえるような取組が必要である。	意見なし
< 改善内容 >			写真やイラストなど分かりやすい表現による「注意事項」や「お知らせ」の掲示、口頭による説明、注意喚起を随時行うことにより利用者が児童館の利用ルールを守れるように働きかけます。		利用ルールの周知のほか、物品配置表の掲示など片付けやすい仕組みや、利用者と共に考える機会を持つなど工夫されたい。	意見なし

施設名	川西市久代児童センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	こども未来部 こども政策課
区 分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	
評価項目及びポイント		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)
総 合 評 価		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	
評価ランク		A		A	
・評価できる内容	イベント・自主事業において地区福祉委員会、ボランティアグループ、暫定利用登録の高齢者団体、隣接するアソシア川西、川西南公民館などの関係団体に加え、社協内部署とも連携協働することで地域における安全・安心な居場所として機能しました。		地域団体や近隣施設と連携し、管理運営されている。		意見なし
・令和7年度に改善した内容	自主事業の運営方法を一部社協内講師派遣や職員派遣に切り替えるなど創意工夫により限られた職員で効果的に事業展開することが出来ました。 従来の運営方法からの変化に利用者から戸惑いの声は聞かれず実施することが出来ました。		少人数体制を前提に、地域団体や外部講師と連携、協力し管理運営されている。		意見なし
・令和7年度に改善したことによる効果	今後の効率かつ効果的な事業運営の在り方の有効手段として、関係団体等とさらに連携して取り組む契機となりました。		近隣施設、地域との関係性の向上により、事業運営において幅広く展開している。		意見なし
・問題があり次年度以降改善が必要な点	少人数での管理運営体制であることから、さらに職員間で連携しコミュニケーションを充分にとることや利用者のケガや天災など不測の事態を想定し、効果的に対応するための情報共有や研修等の受講、法人内、関係機関、近隣施設との連携をさらに強化する必要があります。		活動の主体であるこども達が安心して児童館を利用できるよう、事業の充実が求められる。		利用登録時に、ルールを示し、こども達にも公共施設の使い方を意識できる機会となるよう周知してください。
・改善方法とその時期	職員間では、日々のミーティングを活用し、課題等の情報共有や解決にあたります。 どうしても、センターで解決できない事由については、社協本部や市関係機関等に相談し対応します。 川西南公民館など近隣施設においても、定期的な協議の場における依頼、協力事項を通じて、連携体制を強化していきます。		アンケート結果を分析し、改善が可能な事案があれば職員間で話し合い、利用者のニーズに柔軟に対応されたい。		意見なし

【記入上の留意点】
 (1) 指定管理者は、自己評価記入欄に、市所管課は、一次評価記入欄に評価を記入いただきますようお願いいたします。
 (2) 水色の表観覧にはドロップダウンで評価(A、B、C、D)が選択できます。評価欄の濃淡ピンク色の部分は、水色の部分に評価を入力すると自動的に総合評価が表示されます。

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	要	改